

生徒が自己に必要な知識を自覚しながら学習する

中学校社会科公民的分野の授業構想

－「パワフル・ナレッジ（力強い知識）を身に付ける単元構成」 の実践を通して－

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（社会）

学習指導要領では、生きて働く知識を身に付けることが求められている。そこで、「パワフル・ナレッジ」を視点に、生徒が自己に必要な知識を自覚しながらパワフル・ナレッジを身に付ける授業の在り方を明らかにすることを目的として、研究を行った。

「パワフル・ナレッジ」とは、イギリスの教育社会学者であるM. ヤングが提起した知識概念であり、学校だからこそ身に付けることができる知識を指す。

本稿では、先行研究を基に、本研究におけるパワフル・ナレッジを定義し、「パワフル・ナレッジを身に付ける単元構成」を作成した。そして、その単元構成を踏まえた公民的分野の単元を開発し、授業実践を行った。

実践の結果、知識を身に付ける必要性や重要性を感じながら学習する生徒の姿が見られ、単元構成の有効性や効果的な手立てに迫ることができた。本稿最後には、研究を通して明らかになったことをまとめ、「生徒が自己に必要な知識を自覚しながらパワフル・ナレッジを身に付ける授業の在り方」を示した。

今後は、他分野他領域における検証、本研究で得られた示唆について実践していくことが課題である。